

原 著

特別養護老人ホームの介護員に対する口腔ケア実技指導

栃尾郷病院、歯科；歯科衛生士

猪俣 真弓、渡辺 尚子、田辺千佳子

目的：誤嚥性肺炎と口腔ケアの密接な関連が重要視されている昨今、実際に口腔ケアを実施している特別養護老人ホームの介護員の現状を把握し、その上で実用的且つ効率的な口腔機能の向上につながる方法を見出す。

方法：特別養護老人ホームの介護員に対して口腔ケア実施状況について事前アンケートを取り、それに基づき実技指導を行った。その後の実施状況について、再度受講後アンケートを取った。

成績：受講後アンケートで、介護員全員が入所者に口腔ケアを施すわけではないと分かり研修会後の口腔ケアに生かされているかどうかの判断がつきにくかった。実際に口腔ケアを施している介護員は、入所者への口腔ケア実技を実施したので実践しやすかったとの意見を頂いた。

結論：今回受講された介護員の多くは、口腔ケアについて何らかの講習経験があり実際に実施しているが、一人ひとりの入所者はすべて異なりマニュアル通りに実施できるケースが少ない。今後はその人のその時点で現状に応じた口腔ケアが実施できることが望まれる。

キーワード：特別養護老人ホーム、アンケート、口腔ケア

緒 言

昨年12月に新潟県歯科保健協会より中越大震災復興基金委託事業として「健康サポート事業 誤嚥性肺炎予防のための口腔ケア」について講義及び実習の依頼があり、市内にある特別養護老人ホームにて、口腔ケアの意義や入所者をモデルとしての実技指導を行うこととなった。

介護の現場における口腔ケアの現状を事前アンケートで把握した上で、より現場に即した実技指導を行うことを目的とする。

対 象 ・ 方 法

特別養護老人ホームの職員に対し現時点での口腔ケアの実施方法、疑問点、問題点等を把握するために事前アンケートをお願いした。

実技指導当日は歯科医師による、①口腔ケア概論、②誤嚥性肺炎について、③事前アンケートでの質問に対する回答と、歯科衛生士による、①入所者をモデルにした口腔ケア実技、②使用用具等の説明を行った。

また、受講後に、その後の口腔ケアにおいてどのように反映されているか、再度アンケートをお願いした。

結 果 ・ 考 察

事前アンケートより自分自身に対する指導も含め2/3の人が何らかの口腔清掃指導を受けた経験があった。実際に義歯の清掃や着脱、歯ブラシ等によるブラッシング、舌の清掃、マッサージ等の口腔ケアを実施したことのある人がほとんどである。しかし疑問や不安を抱きながら口腔ケアを実施している現状が浮き彫りとなった(図1)。他にも、口腔ケアを嫌がる人への対応、短時間できれいにする方法、一番効果的な洗口剤や嗽そう剤はどれかなど実質的な質問が多かった。研修会や講習会で聞いてきたことが入所者一人ひとりにスムーズに当てはまるケースは少なく、知識として頭に入っていることが実行できるケースも少ないのが現状のようである。

今回の実技指導では、口腔ケアの時に口を開けてくれずに困るという職員が多かったが介護の現場において必ず直面する問題かと思われる。誰もが口の中にものを入れられたり無理やり開けさせられたりされるのは気持ちのよいことではない。できるだけ気持ちよく、且つケアを行う上で必要最小限口を開けてもらうコツやポイントを実際に入所者をモデルに実技指導できたことは、介護する職員の方も間近で見ることができ、指導する歯科医師・歯科衛生士にとっても言葉で説明しにくい部分が的確に伝えられたと思う。毎日のケアを実施する上で非常に有意義であり一施設での小規模な実技実習であればこそその利点と考える。

受講後アンケートより、研修会はわかりやすかったという感想を頂いた。できるだけ専門用語を使わず入所者をモデルにした実技指導の結果と思われる。研修会後に実際に実践した人の割合が少なかったがアンケートに答えた人の多くが業務の都合で口腔ケアに携わらない人だったためと考えられる。今まで1日3回一定時間内にきっちり口腔ケアをしなければならぬと思っていたが、1日3回の中で1回をしつかりケアをしてプラークが成熟しないうちに排除すればよいという件に関しては、時間と気持ちにゆとりができたという人が多かった半面やはり3回しつかりしなければならぬという人もいた(図2)。但し一人の入所者に対して、誰がどの時間に重点的にケアをするのかという問題もあり検討課題かと思われる。

結 語

一般的な口腔ケアとは口腔内を清潔にすることを指す場合が多い。今回のような特別養護老人ホーム等においてはそれだけにとどまらず、摂食・会話・呼吸機能の維持増進や口腔疾患予防・感染予防を目的と考える。つまりマニュアルに即した口腔内を清潔に保つケアを行い、更に口腔内の不衛生からの誤嚥性肺炎等に罹患する割合が減少するようなケアが普及するようにしていく。誰一人として同じ口腔環境の人はおらず“この人に対して1日に何を何分間行えばよい”ということはない。また“毎日行っているケアを何ヶ月続けられればよい”ということもない。その人のその時点での身体的状況や口腔内環境に応じたケアが必要であり、それを円滑に実施していく上で医療間、医療・介護間においてより一層連携を深めていく必要性を感じた。

文 献

1. 安井良一、阿川真澄. 口腔ケアでいきいき. 戸田恭司、森下真行編集. 東京：医歯薬出版, 2003.
2. 財団法人日本口腔保健協会. 介護のための口腔保健マニュアル. 東京：医歯薬出版；1995.

英 文 抄 録

Original Article

Practical skill guidance of oral care for a member of nursing-care workers in a special elderly nursing home

Tochiogo Hospital, Department of Dentistry ; Dental hygienist

Mayumi Inomata, Naoko Watanabe, Chikako Tanabe

Objective : Oral care was emphasized in connection with aspiration pneumonia. It was useful to understand the condition of nursing-care workers in special elderly nursing homes to improve their technical abilities

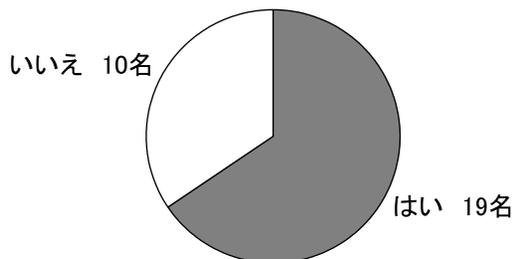
Study design : A questionnaire about their oral cavity care was performed before our practical skill guidance of oral care. After-the-fact questionnaire was done again and we performed the comparison of results before and after guidance to get the effectiveness of practical skill guidance of oral care.

Results : Not all the members of workers did not put oral care for their patients. The member practically giving oral care felt the care practice easy after practical skill guidance.

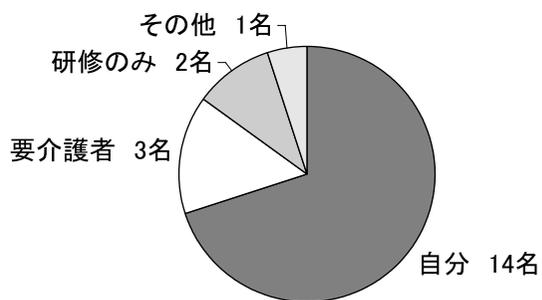
Conclusion : The conditions of patients were different entirely and nursing workers could not carry out their uniform techniques of nursing according to the manual. We hope to deliver tailor-made oral nursing care to our patients in future.

Key Words : Special elderly nursing home, questionnaire, care of oral cavity

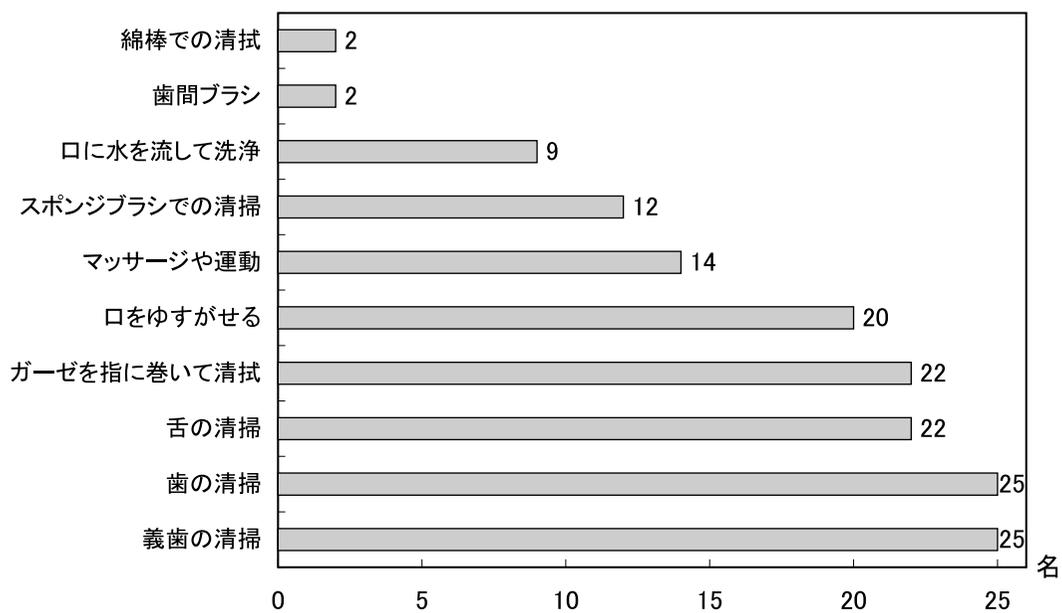
口腔清掃の仕方について指導を受けたことがありますか。



はい。と答えた方で対象者は誰でしたか。

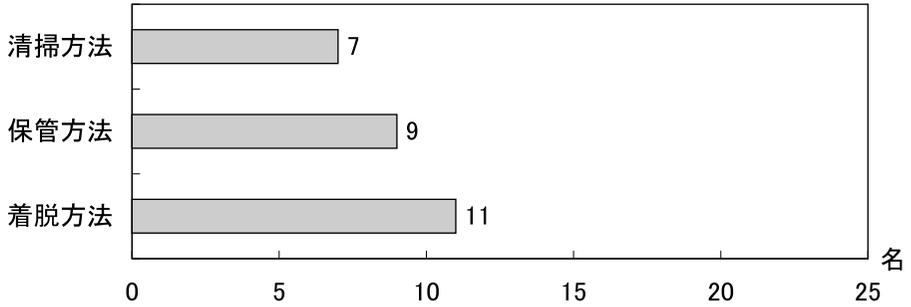


介護の現場でどのような口腔ケアをしたことがありますか。(複数回答有)

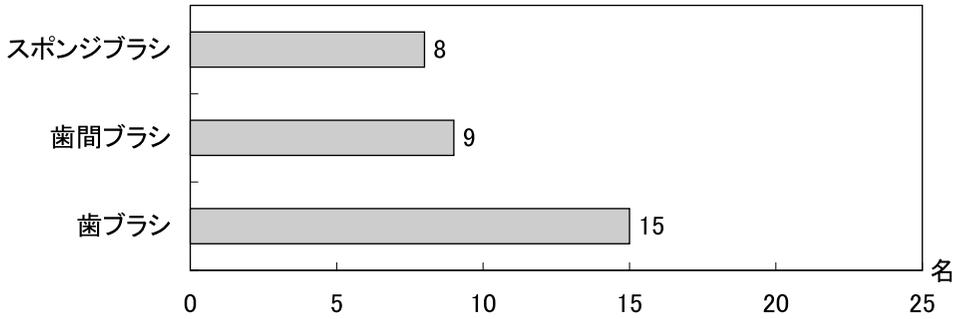


口腔ケアについて聞きたいことはどのようなことですか。(複数回答有)

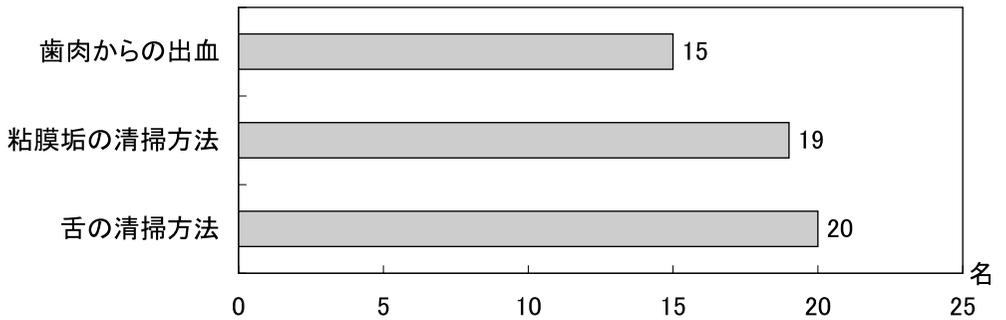
義歯について



歯磨きについて



舌・歯肉・粘膜等について



要介護者の状態について

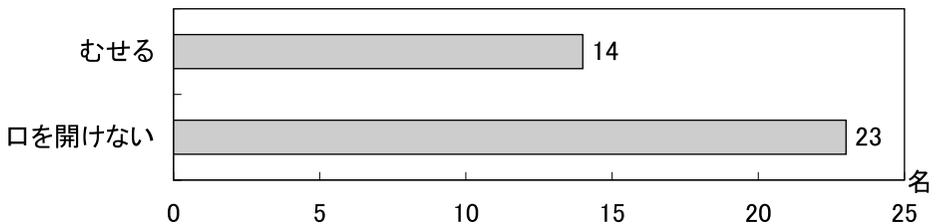
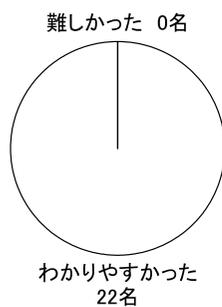
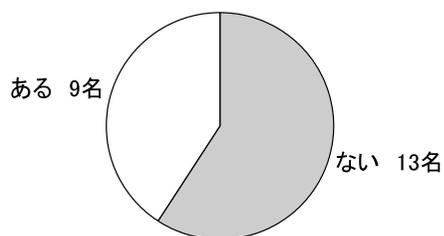


図1 事前アンケート結果 (29名)

研修会はいかがでしたか。



研修会後に実践してみたことがありますか。



感想・意見・要望等をお聞かせ下さい。

- ・うがいをした時の爽快感は大切なのでうがいをきちんとさせるべきだと思う。
- ・アイスマッサージについて聞きたい。
- ・嚥下体操について聞きたい。
- ・1日1回のケアでは心配なので3回しっかりするべきではないのか。
- ・今まで毎食後に必死にケアしてきたが1回のきちんとしたケアをする事で時間と気持ちにゆとりができた。

図2 受講後アンケート (22名)